

# メンター制度について

## メンティー

おおえ  
**大江 さつき**  
職業安定局  
障害者雇用対策課  
職業指導係



## メンター

おおば あずさ  
**大庭 梓**  
職業安定局  
障害者雇用対策課  
地域就労支援室  
就労支援係長



## 現在の業務内容について教えてください。

ハローワークにおける障害のある方への職業紹介に関わる業務を行っています。具体的には、本省からの通達の解釈や現場で起こる様々な事案への対応方針などについて労働局から問合せが寄せられることがあるので、それに対して回答を行います。また、新規求職申込件数・就職件数などのデータを集計し障害者雇用に関する労働市場の分析を行います。分析結果に基づいて、労働局・ハローワークの業務で重点的を置くべきことや改善すべき点について検討した上で、必要な場合には改善の取組などについて労働局へ指示するなどしています。

## メンターにはどんなことを相談しましたか。

今取り組んでいる業務の悩み、今後のためにできる準備や組織に関する全体的なこと、ワークライフバランスの3点をよく相談しています。  
初めての業務が、慣れないシステムを使ったデータ分析で、わからないことが多く、時間がかかってしまったり、ミスをしていたり課題がたくさんありました。その時に、励ましやどのように課題を解決できるか具体的なアドバイスをいただき、次に繋げられる経験として失敗を前向きに捉えることができました。  
また、他係がどういった業務を行なっているか、なかなか知る機会がないので、この面談の中で教えていただいています。各業務に共通するスキル、業務によっては必要になるスキルなど、複数の業務をすでに経験されている先輩から取り組む上での工夫や今からできる準備などのアドバイスをいただき、異動に今から備えることができるので、将来に対する不安が軽減します。  
ワークライフバランスについては、どういった働き方をされている方がいるか、キャリアパスや勤務形態などの働き方の選択肢を伺ったり、休日の過ごし方やストレス発散方法などを相談したりしてうまく働き続けられるようなヒントを教えてくださいたいです。

## これからの目標について教えてください。

わからないことや課題が数多くありますが、日々新しい学びがあり、上司や同僚の方の仕事の仕方を倣いながら吸収し、できることを1つずつ増やしていきたいです。そして、ゆくゆくはどんな事情や背景があっても、その方が望む『働く』を叶えられるような労働行政の実現に向けて、私の「働く」を体現していきたいです。

## 現在の業務内容について教えてください。

障害者雇用対策課地域就労支援室というところで、主に精神・発達障害のある求職者の就労支援に係る施策を実施しています。精神・発達障害のある求職者や雇用する側の企業に対する支援を行う専門の相談員を全国のハローワークに配置していますので、支援の状況を把握し、課題があれば労働局の担当者から話を聞きながら解決策を考え、指導を行っています。専門の相談員の研修の機会を設けることも業務の一つです。  
また、障害者雇用におけるテレワークの促進に向けて、企業向けのガイダンスやコンサルティングを実施する取組も行っています。

## メンターにはどんなことをアドバイスしましたか。

大江さんは持ち前の明るさと朗らかさで、あっという間に課のメンバーの中に溶け込みました。真面目で努力家であるがゆえに、入省当初は案件を一人で抱え込みがちになってしまう場面が見受けられたので、上司の助言・指示を仰ぎながら仕事を進めることや、ライン全体で連携して案件を完成させることについてお話ししました。  
担当業務の幅が広がるにつれて、「〇〇の作業に時間がかかってしまう。」「指示が上手く伝わらない。」など具体的な相談を受けることも出てきましたので、一緒に解決策を考えたりもしています。  
さらに、今後どのような部署に配属されることになるのかと、漠とした不安もあるようで、私自身がこれまで担当した業務についてお伝えしました。まずは目の前の仕事に取り組む中で自力で対応できることを増やし、職場内での適切なコミュニケーションを身につけていくことで、未経験の業務を担当することになった時に対応できる力が付くようになるというお話もしました。  
また、ワークライフバランスはどうか、休養をしっかりと取れているかといったことも尋ねるようにしています。積極的に仕事に取り組むことができるのは、健康な心身あってこそです！

## これからの目標について教えてください。

仕事で難題に突き当たった時、先輩方からの助言や情報共有に助けられたことが何度もあります。私も少しずつ業務経験を積み重ねてきたところなので、自分の仕事をこなすだけではなく、円滑に業務を進めるために職場の一員としてどう役に立てるかを考え、行動できるようになりたいです。  
特に1年生は分からないことだらけなのが当たり前。けれども、気後れして、なかなか周囲に相談できない場面も多いと思います。メンターとして、メンティーが困ったなぁと思った時に、「最も気軽に話しかけることができる存在」でありたいと思っています。

# 1日のスケジュール

たなか ふうた  
**田中 風多**

人材開発統括官付 若年者・キャリア形成支援担当参事官室  
若年者就職援助係



8:00

## 起床

所属部署では時差出勤が推奨されており、自分は基本的に10時出勤になっています。出勤前は余裕があるので、読書や語学の勉強をしたり、のんびり朝食をとることができます。

10:00

## 登庁

基本的には登庁しますが、週に1~2回程度はテレワークが推奨されています。省内ではチャットツールも整備されているので、特にコミュニケーションに不自由は感じません。

10:30

## 都道府県労働局へのヒアリング

労働局の担当者の方から、直近のフリーター支援の実績についての所感や、全体の雇用情勢についてオンラインでヒアリングをし、その結果をベースにして当月の分析を行います。労働局の方々は日々の業務で頻りにコミュニケーションを取ります。



11:30

## 昼食

同期と他省庁の食堂での昼食です。職場の近辺には多くの飲食店があるので、ランチの場所には困りません。公園も近いのでよく同期と話しながら散歩しています。



13:00

## 資料作成

午後の会議に向けて、資料作成をします。現在、ハローワークの相談員の方々のスキルや専門性の向上に資する交流会の企画を自分を中心になって行っており、その方針についてじっくり検討します。



15:30

## 係内への資料の説明、打合せ

上司に対し、作成した資料について説明します。どうしたら交流会がより良い機会になるのか、効果的な交流会にするためにはどうしたらよいか、ディスカッションを行いました。



18:45

## 退庁

所属部署で個人個人の定時退庁日なども設定するよう勧められており、早めに帰るようにしています。

## 番外編

### 現場の視察

室内の他係の方に誘っていただき、働くことに悩みを抱える方への様々な支援を行っている、「地域若者サポートステーション」の見学に行かせていただきました。自分の業務とは直接の関係はありませんが、人々の自立を支えるため様々な現場の工夫があり、刺激を受けました。



### 休日

休日は友人とご飯を食べたり、実家に帰って愛犬と戯れたりすることが多いです。初めての一人暮らしは何かと不便で、頻りに実家に帰ってしまいます。

